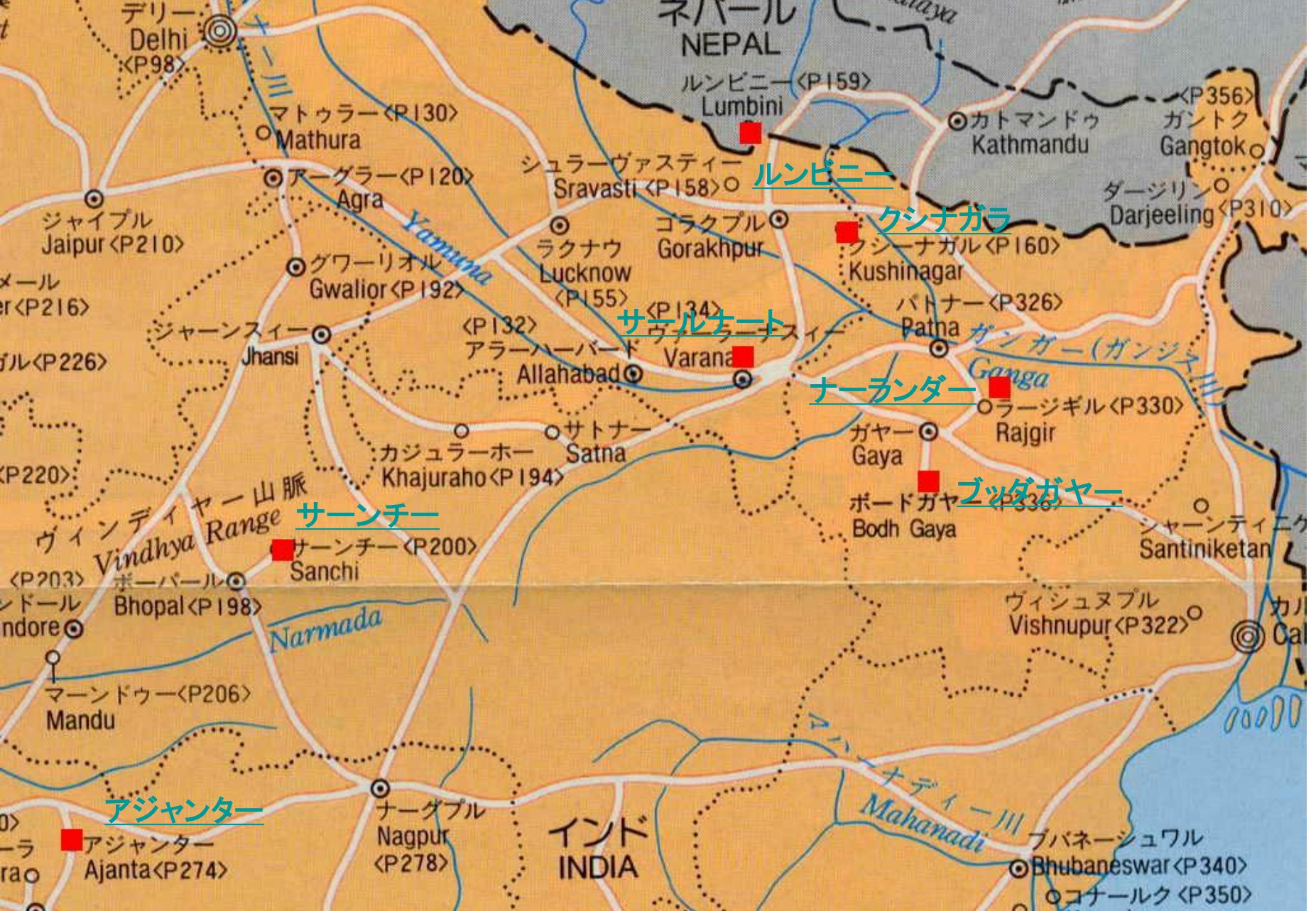


インドの仏蹟今は昔

50年前の古い画像ですが、賑やかにして猥雑に
なってしまったインドの仏蹟を近年訪問された方
には信じがたいほど当時は静寂でした

次へ 



リンクの貼ってある仏蹟をクリックしてください

地図……自由自在・インド(日本交通公社)より



仏陀誕生の地ルンビニー
ネパール領のただっ広い平原の中にある

次へ 



白いマヤ堂の左にアショーカ王の建てた石柱がみえる



アショーカ石柱がこの地がルンビニーであることを示している

地図に戻る 




遙か彼方に霞んで見えるのは仏陀が苦行をしたといわれている前正覚山　手前に広がるのは乾期のナイランジャナ河

次へ





乾期のナイラジャナ河 洗濯物が干してある
向こう岸にブッダガヤの大塔が見える

次へ 



ブッダガヤの大塔

仏跡のなかでここだけ現在も
寺院として活動している

この塔は十九世紀に改修さ
れたもの
アショーカ王のときすでに精
舎が建てられていたという

次へ





仏陀がその
下で瞑
想したと
いう菩提
樹



仏陀がここで目覚めた
といわれる金剛座も以
前は何の囲いもなく素
朴な台座という感じで
自由に近づけた →

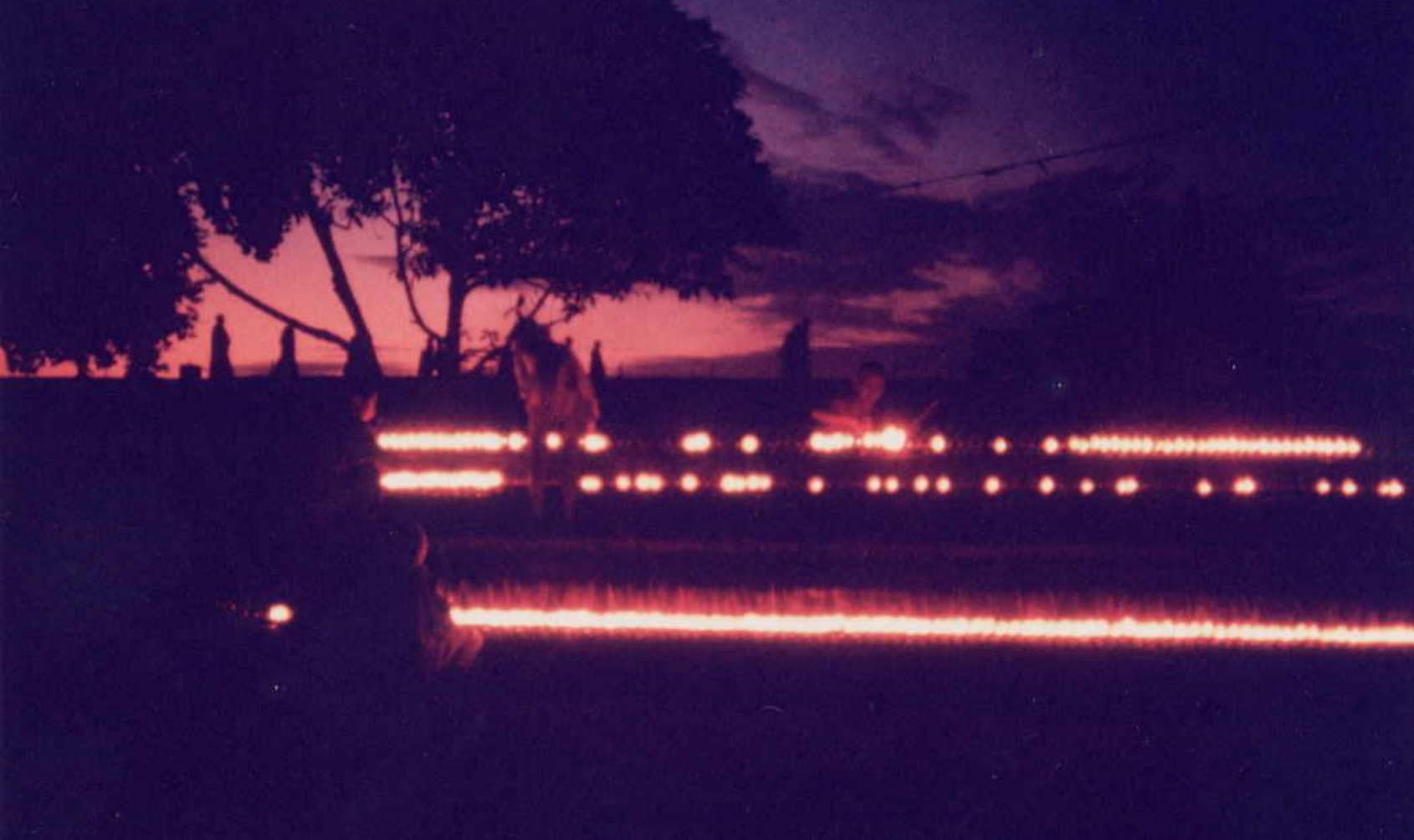
次へ





ブッダガヤのタンク(水浴び場)
インドでは寺院の横には必ずタンクがある

次へ 



日没後大塔前で夕べの献灯が始まる

地図に戻る 

献灯台 →



初転法輪の地サールナトに建つダ メーク・ストゥーパ

30年前 →


現在 ↓



次へ 



ダメーク・スツーパーを右回りに回って巡拝するティベット人(現在)

次へ 

← 50年前ののどかな風景



ダメーク・ストウーパの前で読経する
ティベット僧たち(現在)



次へ

'00 2 22



アショーカ王の石柱 表面に掘られた文字が
かすかに見える(現在)

次へ 



サールナートのアショーカ石柱の柱頭
インドのシンボリック存在で、かつては
紙幣に印刷されていた
(50年前、サールナト博物館にて
現在は博物館内撮影禁止)

次へ 





サールナト全景(この写真は30年前のもの)

地図に戻る



仏陀入滅の地クシナガラ
沙羅双樹の背後に涅槃堂
が見える
50年前は全くの静寂があたり
を支配していた

次へ 





クシナガラの遺跡 ここも人影まばら



涅槃像も質素な飾り付けがされているのみ

地図に戻る 



サーンチーの第1塔
最古の仏塔に属す

BC3~2世紀頃からAD1世紀にかけて造営されたと思われる
観光客は1~2組のみで、のどかで牧歌的な雰囲気

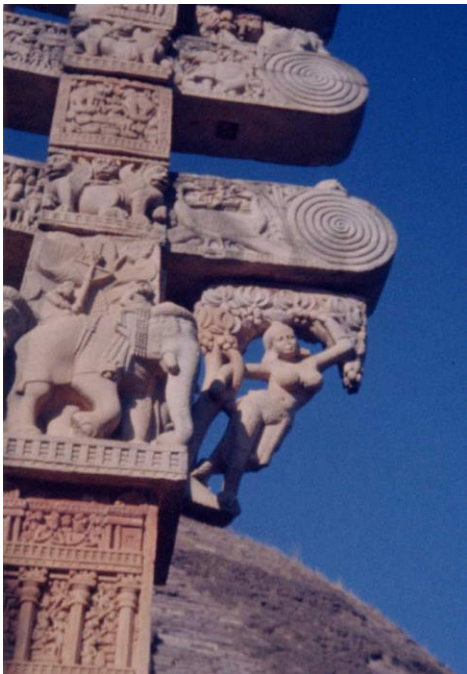


第3塔の全景



アショーカ石柱と第3塔

第1塔の塔門の柱に彫られた→
彫刻、菩提樹で仏陀が表現さ→
れている →
塔門はAD1世紀頃と思わ
れるが、この頃にはまだ
仏像は現れていなかった



塔門のヤ
クシー像



次へ 





丘の中腹にある僧院跡




サーンチーの丘からの眺め

地図に戻る 



アジャンター石窟寺院

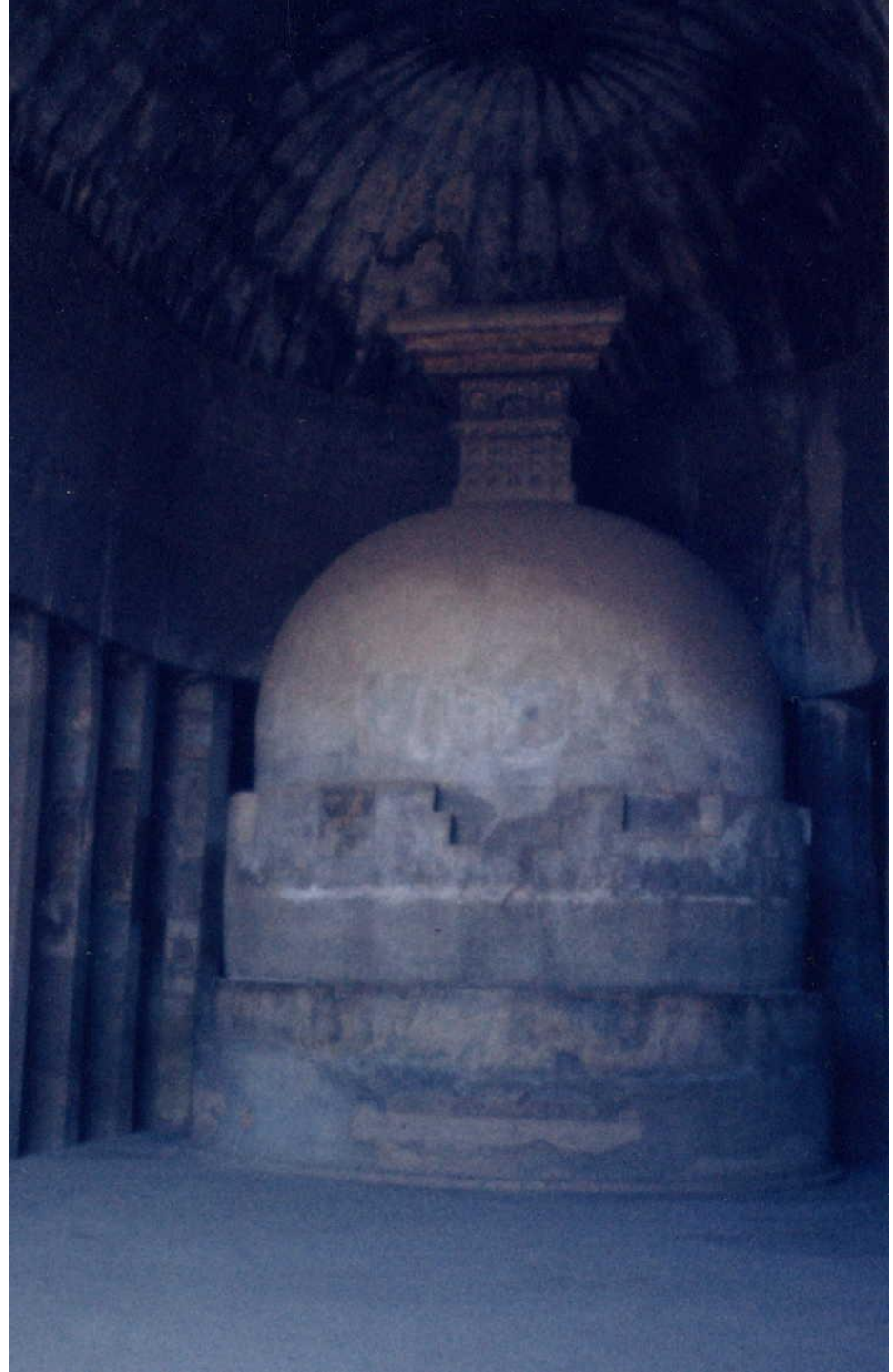


次へ 

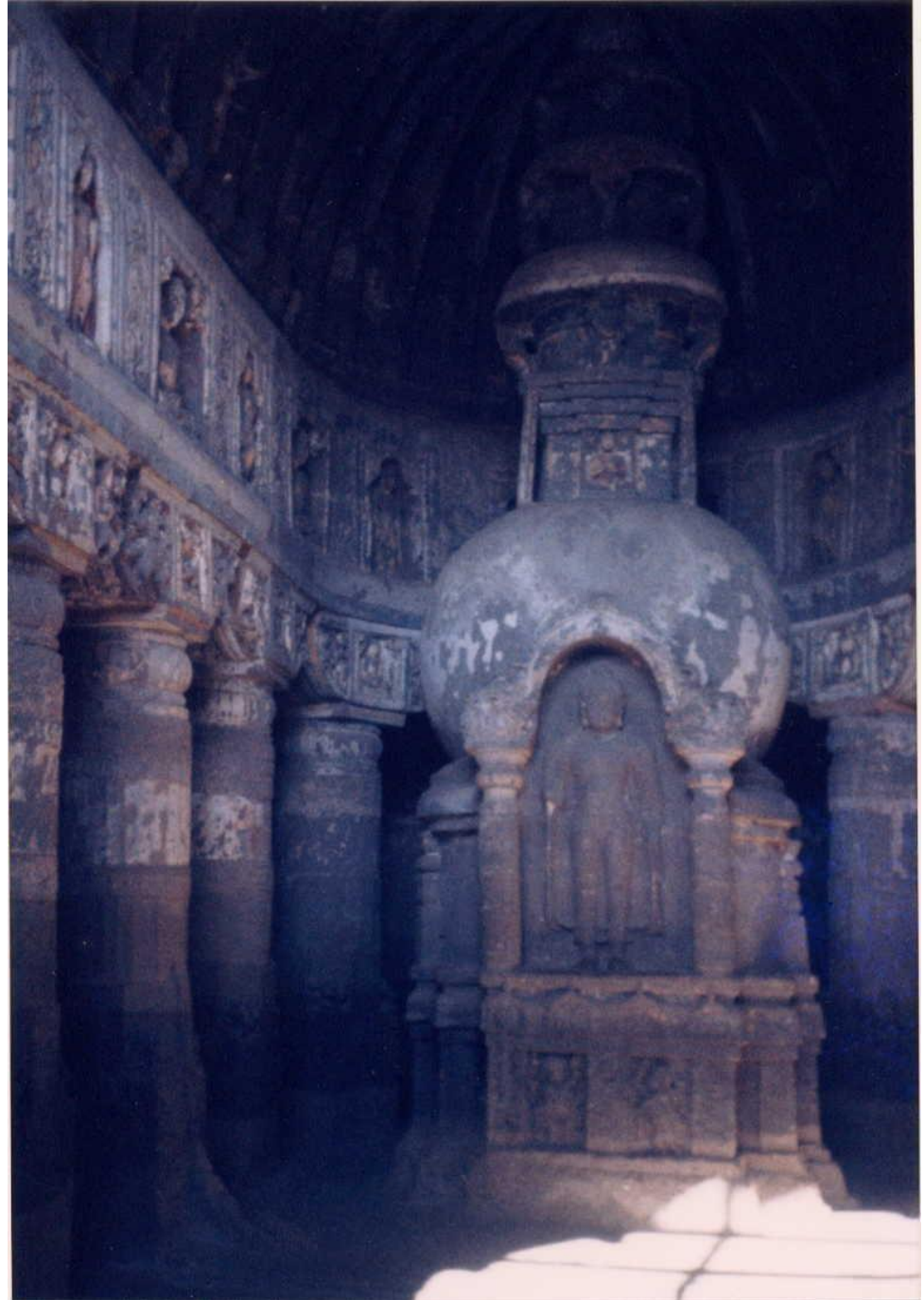
アジャンター第26窟(AD6世紀)
入口



第10窟のストウーパ
BC2世紀頃と推定され
ている
窟院内の装飾も質素
この頃には仏像は
まだ現れていない



第19窟のストウーパ
AD6世紀頃と思われる
窟院内の装飾も派手に
なりストウーパの中央
には仏陀の姿が表現
されている



地図に戻る






ナーランダー寺院遺跡の全景



見事に整備されたナーランダ一遺跡

当時は観光客もまばら

次へ 



美しいブーゲンビリヤがよく映えていた

地図に戻る 

